〔6〕海外向け設備

当社は電力需要の伸びが期待できる新興国を注力市場と位置付けて、販促活動を展開している。ASEANでは経済発展の潜在性が高いミャンマーにおいて、電力供給の安定化対策として、配電自動化システム用の柱上真空開閉器をヤンゴンの配電会社に納入した。

また、南米ウルグアイにおいては、ODA（政府開発援助）案件として太陽光発電設備を納入した。ここでは、これらの海外市場拡販の成果を紹介する。

6．1　ミャンマー　36kV柱上真空開閉器

当社は2013年に JICA（独立行政法人国際協力機構）の技術実証案件に参画、ガス開閉器を中核とする配電自動化システムをミャンマー最大の都市ヤンゴンのヤンゴン配電会社に納入した。

本システムは、配電線上で事故が発生した際、事故区間を特定、確実に分離し、停電範囲の最小化と早期事故復旧に貢献できることから、高い評価を受けている。この配電自動化システムをベースにミャンマーの電力事情を考慮し、ガス開閉器の10倍に相当する10,000回の機械的耐久性を持つ真空開閉器を開発、2019年にヤンゴン配電会社に納入した（**図1**、**図2**）。

これからも信頼性・耐久性の高い機器を提供することで、ミャンマーにおける　電力の安定供給に貢献するとともに、ヤンゴン以外の都市への展開を進めていく所存である。

図1　36kV柱上真空開閉器

図2　36kV柱上真空開閉器用制御装置

6．2　ウルグアイ　250kW太陽光発電設備

太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画において、ウルグアイ東方共和国に250kW太陽光発電システム設備を納入、2019年7月にウルグアイ政府への引渡が完了した（**図3**、**図4**）。250kWパワーコンディショナ（PCS）を2台（1台は予備）納入し、PCSのメンテナンス時等は予備のPCSへ切り替えて運用できるシステム構成となっている。また、監視システムはクラウドサーバを構築し、遠隔監視することが可能なシステムとなっている。

同設備の納入により、発電用の化石燃料の消費量が減少し、二酸化炭素の排出量が削減され、再生可能エネルギー普及にも貢献している。

【納入設備】

（1）250kW PCS×2台
（2）太陽電池モジュール × 1式 （250kW）
（3）接続箱/集電箱×1式
　・低圧配電盤 × 1面
　・昇圧変圧器（400-230V/15kV）×1台
　・監視システム×1式

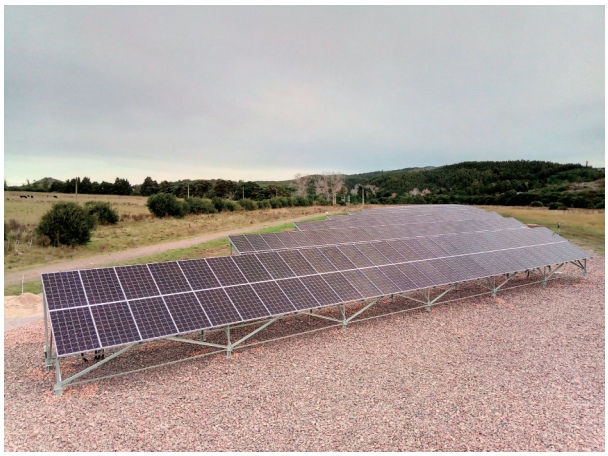

図3　太陽電池モジュール設置風景

図4　電気室内（PCSおよび低圧配電盤）